

2021（令和3）年度福島大学入学者選抜の概要（予告の追加・変更）について

目 次

	頁
はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1 入試区分の変更について・・・・・・・・	1
2 大学入学共通テストの利用と「国語」および「数学」の記述式問題 について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3 大学入学共通テスト「英語」について・・・・・・・・	2
4 学力の3要素の評価について	
(1) 学力の3要素の多面的・総合的評価	3
(2) 一般選抜における主体性等の評価	4
(3) 総合型選抜および学校推薦型選抜における学力の3要素の評価	5
5 入学定員および募集人員・・・・・・・・	6
6 各学類における入学者選抜の主な変更点	7
7 各学類の一般選抜，総合型選抜および学校推薦型選抜の入学者選抜方法	
(1) 一般選抜	9
(2) 総合型選抜および学校推薦型選抜	15

2021（令和3）年度福島大学入学者選抜の概要（予告の追加・変更）について

2020年3月23日
国立大学法人福島大学

はじめに

2021年度福島大学入学者選抜（2020年度実施）の見直しについては、2017年7月13日 文部科学省発出「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」、「大学入学共通テスト実施方針」、および2017年11月10日国立大学協会発出「平成32年度以降の国立大学入学者選抜制度 - 国立大学協会の基本方針 - 」の趣旨に沿うことを基本的な考え方とし、かつ、受験者の皆さまに早期に周知することを重要視し、過去3度（2018年9月27日、2018年12月26日、2019年3月22日）にわたって予告を行ってきたところです。

しかしながら、大学入学共通テスト「英語」の枠組みの中で英語「資格・検定試験」を導入することが現時点で見送られ、本学の入試改革の前提となる考え方に非常に大きな変更があったことから、2021年度福島大学入学者選抜から2024年度福島大学入学者選抜までの大学入学共通テスト「英語」については、英語「資格・検定試験」を活用せず、リーディングおよびリスニングを課すこととし、2019年11月27日に予告内容の変更を行いました。

さらに、文部科学省から2021年度大学入学共通テストにおける記述式問題導入見送りの発表があったように、2021年度大学入学共通テスト「国語」および「数学」では、記述式問題は課されません。

また、経済経営学類学校推薦型選抜（A推薦）の推薦要件を追記しました。

文部科学省の更なる方針変更がない限り、今回の予告見直しに基づいて2021年度福島大学入学者選抜要項を作成し、2020年夏ごろに公表することとします。

1 入試区分の変更について

下記のとおり変更します。

現行	2021年度入学者選抜から
一般入試	一般選抜
A〇入試	総合型選抜
推薦入試	学校推薦型選抜
私費外国人留学生入試	私費外国人留学生選抜

2 大学入学共通テストの利用と「国語」および「数学」の記述式問題について

文部科学省の更なる方針変更がない限り、一般選抜では、従来の「大学入試センター試験」に代わる「大学入学共通テスト」の成績を利用した入学者選抜を実施します。

また、「はじめに」で触れたとおり、文部科学省から2021年度大学入学共通テストにおける記述式問題導入見送りの発表があったように、2021年度大学入学共通テスト「国語」および「数学」では、記述式問題は課されません。

3 大学入学共通テスト「英語」について

「はじめに」で触れたとおり、大学入学共通テスト「英語」については、英語「資格・検定試験」を活用せず、リーディングおよびリスニングを課することとします。

リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、各学類の配点に圧縮して利用します。また、リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を各学類の配点に換算して利用します。

大学入学共通テストを課す、「人間発達文化学類・学校推薦型選抜」および「経済経営学類・総合型選抜」においても、「英語」の取扱いは同様とします。

なお、「経済経営学類・A推薦（推薦要件に語学検定試験の基準得点等を設定）」および「食農学類・総合型選抜（出願資格に語学資格等を設定）」においては、出願までに、指定された語学資格等を取得し、合格通知等の写しを提出することになります。出願手続き方法は現行から変更はありません。

4 学力の3要素の評価について

(1) 学力の3要素の多面的・総合的評価

本学では、すべての学類の一般選抜、総合型選抜および学校推薦型選抜において、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(以下、「主体性等」)」の「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

評価方法	学 力 の 3 要 素				
	知 識 ・ 技 能	思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力		主 体 性 等	
	知 識 ・ 技 能	思 考 力 ・ 判 断 力	表 現 力	意 欲 ・ 関 心 ・ 態 度 (主 体 性)	協 働 性
大学入学共通テスト, 個別学力検査 実技検査 (実績評価)					
小論文, 課題論文, 課題レポート			○		
総合問題	○				
口頭試問, 面接	○	○	○	○	
グループ討論		○			
ポスター プレゼンテーション	○	○			
調査書					
推薦書(学校)	○			○	
自己推薦書, 志願理由書			○	○	

(2) 一般選抜における主体性等の評価

本学のすべての学類の一般選抜(前期日程および後期日程)において、大学入学共通テストおよび個別学力検査等に加え、「主体性等」を評価します。

食農学類の後期日程では面接により主体性等を評価します。それ以外のすべての入試区分においては、調査書を活用して主体性等を評価します。

調査書を提出することができない受験者は、「主体性等に関する自己申告書」を提出することになります。過去3年以内に、主体的・自発的に行った活動、多様な人々と協働して行った活動に関する記述を求めます。

一般選抜では、原則として、A選考とB選考の二段階で合格者を決定します(合格発表は一括して行います)。

【A選考】

募集人員の95%程度については、大学入学共通テストと個別学力検査等の合計点の上位者を合格とします。

【B選考】

合格予定者数からA選考合格者数を引いた数の2倍の受験者を対象とし、大学入学共通テストと個別学力検査等の得点に主体性等評価の得点を加えた合計点で合格者を決定します。

主体性等評価の配点は、大学入学共通テストと個別学力検査等の配点合計に対して2～3%の間で、各学類が定めます。

調査書または主体性等に関する自己申告書の内容と、本学のアドミッション・ポリシーの整合性の観点から、主体性等を評価します。受験者の属性(性別、年齢、出身地など)や評定、評定平均値(学習成績の状況)は、主体性等評価の対象とはしません。

参考：福島大学のアドミッション・ポリシー

福島大学では、以下の要件を満たす学生を募集します。なお、「求める学生像」の具体的内容は、学類のアドミッション・ポリシー(AP)で示します。

1. 福島大学の教育目標を理解していること
2. 地域や社会の発展に貢献する志をもつこと
3. そのため、選択した領域の専門知識、問題を発見し探究する力、広い教養と知的関心、グローバルな視野、主体的に多様な人びとと協働する力、を自ら向上させようとする意欲があること
4. 福島大学での学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的学力、思考力・表現力・コミュニケーション能力、現実の問題や学問への能動的姿勢を持っていること

(3) 総合型選抜および学校推薦型選抜における学力の3要素の評価

本学では、入学定員の約3割を対象にして、総合型選抜と学校推薦型選抜を実施します。

各学類では、下表に記した方法で、学力の3要素を評価します。

総合型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
人間発達文化学類 (芸術・表現コース)	小論文, 面接, 実技検査		面接
人間発達文化学類 (スポーツ健康科学コース)	実技実績調査書(第1次選抜) 小論文, 面接, 実技実績評価 (第2次選抜)	小論文, 面接	面接
行政政策学類(夜間主)	口頭試問		
経済経営学類	課題レポート(第1次選抜) 大学入学共通テスト (第3次選抜)	課題レポート(第1次選抜)	
		グループ討論および面接(第2次選抜)	
共生システム理工学類	ポスター内容(第1次選抜) 総合問題(第2次選抜)	ポスター内容(第1次選抜)	志願理由書
	ポスタープレゼンテーション(第2次選抜)		
食農学類	自己推薦書(第1次選抜), 課題論文(第2次選抜)		面接(第2次選抜)

学校推薦型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
人間発達文化学類	大学入学共通テスト, 面接		面接
行政政策学類	調査書(評点), 小論文	小論文, 面接	面接
経済経営学類(A推薦)	調査書(評点), 語学資格・検定基準	小論文, 面接	面接
経済経営学類(B推薦)	調査書(評点), 簿記検定試験の合格	小論文, 面接	面接
共生システム理工学類	調査書(評点), 小論文	小論文, 面接	面接

5 入学定員および募集人員

本学の入学定員および募集人員を下表のように変更します。

単位:人

学群	学 類	コ ー ス 等	入 学 員	募 集 人 員					
				一 般 選 抜		総合型選抜	学校推薦型選抜	私費外国人留学生選抜	
				前期日程	後期日程				
人文社会学群	人間発達文化学類	教育実践コース	260	15	A系 6		14	若干名	
		心理学・幼児教育コース		20			7		
		特別支援・生活科学コース		12			13		
		芸術・表現コース		12		8	8		
		人文科学コース		60			15		
		数理自然科学コース		15		B系 6	11		
		スポーツ健康科学コース		20	12		6		
		小 計		154	12	20	74		
	行政政策学類	昼間	地域政策と法コース 地域社会と文化コース	185	108	35		42	若干名
		夜間主	地域政策と法コース 地域社会と文化コース	20			20		
		小 計		205	108	35	20	42	若干名
	経済経営学類	経済学コース 経営学コース	220	114	40	11	A推薦 25 B推薦 25	5	
	理工学群	共生システム理工学類	数理・情報科学コース 経営システムコース 物理・システム工学コース 物質科学コース エネルギーコース 生物環境コース 地球環境コース 社会計画コース 心理・生理コース	160	70	42	25	23	若干名
	農学群	食農学類	食品科学コース 農業生産学コース 生産環境学コース 農業経営学コース	100	60	20	20		若干名
合 計			945	506	149	96	189	5	

6 各学類における入学者選抜の主な変更点

(1) 人間発達文化学類

一般選抜前期日程の募集人員を 166 人から 154 人に変更します。また、一般選抜後期日程の入試区分を 3 から 2 にしたうえで、募集人員を 19 人から 12 人に変更します。

一般選抜前期日程の心理学・幼児教育コースの個別学力検査に、小論文に加えて表現基礎検査を追加します。また、数理自然科学コースの数学の科目を変更します。

芸術・表現コースとスポーツ健康科学コースに総合型選抜(募集人員計 20 人)を新設します。

学校推薦型選抜の募集人員を 75 人から 74 人に変更し、幼稚園、特別支援学校、小学校のいずれかの教員になることを強く希望する者を求めます。

学校推薦型選抜の選抜方法は、いずれのコースも大学入学共通テスト、面接の総合点により判定します。

(2) 行政政策学類

行政政策学類の入学者選抜は変更ありません。

(3) 経済経営学類

一般選抜前期日程の募集人員を 115 人から 114 人に変更します。

前期日程の専門学科・総合学科卒業生入試(募集人員 5 人)を廃止します。

私費外国人留学生選抜の定員を 5 人とします。

総合型選抜(募集人員 11 人)を新設します。

学校推薦型選抜の区分を A 推薦(25 人)、B 推薦(25 人)に変更します。A 推薦の推薦要件として、語学資格・検定基準を設定します。B 推薦の推薦要件の検定試験について、情報処理関連の検定を削除し、簿記関連の検定のみとします。

(4) 共生システム理工学類

一般選抜後期日程の募集人員を 45 人から 42 人に変更し、学校推薦型選抜の募集人員を 20 人から 23 人に変更します。

前期日程の個別学力検査の「理科」について、「地学基礎・地学」を削除します。

(5) 食農学類

食農学類の入学者選抜は変更ありません。

7 各学類の一般選抜，総合型選抜および学校推薦型選抜の入学者選抜方法

各学類の入学者選抜方法は次頁以下のとおりです。

(1) 一般選抜
【一般選抜】人間発達文化学類

コース	日程 募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	歴史・ 公民	数学	理科	外国語	実技 検査	小論文	表現基 礎検査	配点合計	主体性 等評価
教育実践 コース	前期日程 15人	国 地理、公民 理	国(必須) 世A、世B、倫政経から1または2 選択 ：「地理」、「公民」から1科目選択 する場合 物基、化基、生基、地学基から2および物、 化、生、地学から1 物、化、生、地学から2 選択 ：「地理」、「公民」から2科目選択 する場合 物基、化基、生基、地学基から2 または 物、化、生、地学から1 数、数・数Aから1 数、数・数B、薄、情報から1 英、独、仏、中、韓から1	その他	小論文(必須)	共通テスト	200	200	200	100	200				900	
心理学・ 幼児教育 コース	前期日程 20人 (小論文2) (検査8)	教 外	数、数・数Aから1 数、数・数B、薄、情報から1 英、独、仏、中、韓から1	その他	小論文 表現基礎検査 保育人士資格取得を希望する者は表現基礎検査 を、保育人士資格取得を希望しない者は小論文 を選択してください。	共通テスト	200	200	200	100	200		(400)	(400)	400	
特別支援・ 生活科学 コース	前期日程 12人		選択 (5教科7科目)または(5教科8科目) 選択 (5教科7科目)、(5教科8科目) (6教科7科目)または(6教科8科目)	その他	小論文(必須)	共通テスト	200	200	200	100	200				900	
芸術・表現 コース	前期日程 12人 (音楽6) (美術6)			その他	実技検査(音楽) 実技検査(美術)	共通テスト	200	200	200	100	200				900	
人文科学 コース	前期日程 60人 (国語20) (英語20) (小論文20)			国語 外国語	国語(国語総合・現代文B・古典B) 英語(コミュニケーション英語・ コミュニケーション英語・ コミュニケーション英語・ 英語表現・英語表現)	共通テスト	200	200	200	100	200				900	
数理自然 科学コース	前期日程 15人			その他	小論文	共通テスト	(400)			(400)			(400)	400		
				数学	数学(数・数・数・数A・数B)(必須)	共通テスト	200	200	200	100	200				900	
						個別学力検査等		400							400	
						計									1300	
						主体性等評価										30

コース	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
	日程 募集人員	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴、 公民	数学	理科	外国語	実技 検査	小論文	表現基 礎検査	配点合計	主体性 等評価
スポーツ 健康科学 コース	前期日程 20人	国 地歴、公民 理	国(必須) 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現代、倫、政経、倫政経から1または2 選択 ：「地歴」、「公民」から1科目選択 する場合 物基、化基、生基、地学基から2および物、 化、生、地学から1 または 物、化、生、地学から2 選択 ：「地歴」、「公民」から2科目選択 する場合 物基、化基、生基、地学基から2 または 物、化、生、地学から1 数、数、数・数B、簿、情報から1 英、独、仏、中、韓から1 選択 （5教科7科目）または（5教科8科目） 選択 （5教科7科目）、（5教科8科目）、 （6教科7科目）または（6教科8科目）	その他	科目名等 実技検査(スポーツ)(必須)	共通テスト	200	200	200	100	200	200			900	
A系 B系	後期日程 12人 (A系6) (B系6)	数 外		その他	小論文(必須)	共通テスト	200	200	200	100	200			900		
						個別学力検査等						600	200	200		
						計								1500		30
						主体性等評価										
						計								1100		30
						主体性等評価										

【コース】欄

後期日程について
次の2受験区分で募集を行います。

- A系：本人の希望により、教育実習、心理学・幼児教育、特別支援、生活科学、芸術・表現の各コースのいずれかに所属します。
B系：本人の希望により、人文科学、数理自然科学、スポーツ健康科学の各コースのいずれかに所属します。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

前期日程・後期日程について

- a. 「地理歴史」、「公民」から2科目、「理科」の「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合、それぞれの「第1解答科目」の2科目と「第2解答科目」のどちらか高得点の1科目、合計3科目を判定に用います。
b. 「地理歴史」、「公民」から2科目、「理科」の「基礎を付した科目」から2科目、および「基礎を付していない科目」から1科目を受験した場合、「地理歴史」、「公民」の「第1解答科目」と、その他の3科目から高得点の2科目、合計3科目を判定に用います。

合計3科目を判定に用います。
「理科」を2科目選択する場合は、同一名称を含む科目同士の選択はできません。
「地理歴史」を2科目選択する場合は、同一名称を含む科目同士の選択はできません。
「簿記・会計」、「情報関係基礎」、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。
「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを講じます。(リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります。)

【個別学力検査等】欄

(1) 前期日程について

「数学」の「数」は「極限・微分法・積分法」、「数B」は「数列」、「ベクトル」とします。

「外国語」の「英語」については、「音声内容」は含みません。

「表現基礎検査」については、作文、歌、造形等により、保育人格取得を希望する者は、公認心理師カリキュラムを履修できません。

心理学・幼児教育コースで小論文を選択し合格した者は、保育人格取得を希望する者は、公認心理師カリキュラムを履修できません。

後期日程について

A系合格者で心理学・幼児教育コースを選択した者は、公認心理師カリキュラムは履修可能ですが、保育人格取得することはできません。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

前期日程・後期日程について

配点に()を付してある教科は、選択教科を表します。

「地理歴史」、「公民」、「理科」について

上段は、「地理歴史」、「公民」から2科目が用いられた場合の配点を表します。

下段は、「理科」から2科目が用いられた場合の配点を表します。

大学入学共通テスト「外国語」については、リーディングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(200点満点)に圧縮して利用します。

リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、筆記の得点をそのまま利用します。

「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。
募集人員と受験者数の状況によっては、A選考・B選考に分けず、すべての受験者について、大学入学共通テストと個別学力検査等の得点を調査書の評価得点を加えた合計点で合格を決定する場合があります。

【一般選抜】行政政策学類

コース	日程 募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等						主体性等評価		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科		外国語	小論文
地域政策と法コース 地域社会と文化コース	前期日程 108人	国	国(必須) 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫政経から1 数: 数A(必須) 数: 数B, 薄, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基から2 または 物, 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1	その他	小論文(必須)	共通テスト	150	75	75	100	50	150		600
		地歴 公民 数 理 外	(6教科7科目)または(6教科8科目)	その他	小論文(必須)	個別学力検査等							200	200
	後期日程 35人			その他		主体性等評価 【B選考のみ加算】							800	
				その他		共通テスト	100	100	100	100	100		300	
						個別学力検査等						100	100	
						計							400	
						主体性等評価 【B選考のみ加算】							10	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

- (1) 前期日程について
 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
 「理科」については
 a. 「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。
 b. 「基礎を付した科目」2科目および「基礎を付していない科目」1科目を受験している場合は、どちらか高得点の科目(「基礎を付した科目」の場合は2科目の合計点)を判定に用います。
 c. 「理科」を2科目選択する場合は、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。
 c. 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します。(リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります。)
 過年度の大学入試センター試験の成績については利用しません。令和3年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。
- (2) 後期日程について
 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等に印を付してある(6教科7科目)または(6教科8科目)のうち高得点の(3教科3科目)または(3教科4科目)を用います。
 「地理歴史」、「公民」からは、1教科1科目のみ判定に用います。2教科2科目受験している場合には、第1解答科目を判定に用います。
 「数学」については、「数学」と「数学」をそれぞれ1科目として扱うので、「数学」と「数学」が高得点の(3教科3科目)または(3教科4科目)に該当する場合は、どちらか高得点の科目を判定に用います。
 「数学」…数A・数B・数C・数D・薄・情報
 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
 「理科」については
 a. 「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。
 b. 「基礎を付した科目」2科目および「基礎を付していない科目」1科目を受験している場合は、どちらか高得点の科目(「基礎を付した科目」の場合は2科目の合計点)を判定に用います。
 c. 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します。(リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります。)
 過年度の大学入試センター試験の成績については利用しません。令和3年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- (1) 前期日程について
 「国語」については、得点を、配点(150点満点)に圧縮して利用します。
 「地理歴史」、「公民」については、それぞれの得点を配点(75点満点)に圧縮して利用します。
 「数学」については、「数学」と「数学」の合計得点を配点(100点満点)に圧縮して利用します。
 「数学」…数A・数B・数C・数D・薄・情報
 「理科」については、得点を配点(50点満点)に圧縮して利用します。
 「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(150点満点)に圧縮して利用します。
 リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点(150点満点)に換算して利用します。
 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点を配点(150点満点)に換算して利用します。
- (2) 後期日程について
 「国語」については、得点を、配点(100点満点)に圧縮して利用します。
 「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(100点満点)に圧縮して利用します。
 リスニングを免除された場合は、リーディングの得点をそのまゝ利用します。
 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点を配点(100点満点)に換算して利用します。

【一般選抜】経済経営学類

コース	日程 募集人員		大学入学共通テストの利用教科・科目名等		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等					主体性等評価		
	前期日程 114人	後期日程 40人	教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地理、 公民	数学	理科		外国語	小論文
経済学コース			国 地理、公民	国(必須) 世B、日B、地理Bから2 または、 世B、日B、地理Bから1および現社、倫、 政経、倫政経から1	外国語	英語(コミュニケーション英語・ コミュニケーション英語・ コミュニケーション英語・ 英語表現・英語表現)	共通テスト	200	400	200	100	200		1100
経営学コース			教 理	教・教A(必須) 簿記情報から1 物基、化基、生基、地学基から2 または、 物、化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1	その他 小論文	英語(コミュニケーション英語・ コミュニケーション英語・ コミュニケーション英語・ 英語表現・英語表現)	個別学力検査等					(400)	(400)	400
			外	(5教科7科目)〔5教科8科目〕 (6教科7科目)または〔6教科8科目〕	外国語	英語(コミュニケーション英語・ コミュニケーション英語・ コミュニケーション英語・ 英語表現・英語表現)	共通テスト	200	200	200	100	200		900
					その他 小論文		個別学力検査等					(200)	(200)	200
							計							1100
							主体性等評価 【B選考のみ加算】							30

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

- 前期日程・後期日程について
 - 「地理歴史」、「公民」については、2科目のうち少なくとも1科目は、「世界史B」、「日本史B」、「地理B」より選択することとします。
 - 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答する者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限りません。
 - 「理科」については、
 - a. 「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。
 - b. 「基礎を付した科目」2科目および「基礎を付していない科目」1科目を受験している場合は、どちらか高得点の科目(「基礎を付した科目」の場合は2科目の合計点)を判定に用います。
 - c. 「理科」を2科目選択する場合は、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。同一名称を免除された場合は、(リスニングのみとなります。)
- 過年度の大学入学共通テスト試験の成績については利用しません。令和3年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【個別学力検査等】欄

- 前期日程・後期日程について
 - 「外国語」については、「音声内容」は含みません。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- 前期日程について
 - 配点に()を付してある教科は、選択教科を表します。選択教科を比較し、合計得点の高い2科目について傾斜配点します。
 - 上段は、「地理歴史」、「公民」の合計得点の方が高い場合で、「地理歴史」、「公民」の得点をそれぞれ2倍にした場合の配点を表します。
 - 下段は、「数学」2科目の合計得点の方が高い場合で、「数学」2科目の得点をそれぞれ2倍にした場合の配点を表します。
 - 大学入学共通テスト・外国語については、リスニングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(200点満点)に圧縮して利用します。
 - リスニングを免除された場合は、リスニング以外の「英語」の得点をそのまま利用します。
 - 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。
- 後期日程について
 - 配点に()を付してある教科は、選択教科を表します。
 - 大学入学共通テスト・外国語については、リスニングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(200点満点)に圧縮して利用します。
 - リスニングを免除された場合は、リスニング以外の「英語」の得点をそのまま利用します。
 - 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

【一般選抜】共生システム理工学類

コース	日程 募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名等		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等						
		教科	科目名等	教科等	科目名等	国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	配点合計	主体性 等評価
教理・情報科学コース 経営システム工学コース 物理・システム工学コース 物質科学コース エネルギーコース 生物環境コース 地球環境コース 社会計画コース 心理・生理コース	前期日程 70人 後期日程 42人	国 地歴、公民 数 理 外	国(必須) 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫政経から1 数、数、数Aから1 数、数、数B、簿、情報から1 物、化、生、地学から2 または 物基、化基、生基、地学基から2および物、化、生、 地学から1 英、独、仏、中、韓から1	理科 数学	物基・物、化基・化、生基・生から1 数・数・数・数・数A・数B(必須)	200	100	200	200	200	900	
			(5教科7科目)または(5教科8科目)	数学	数・数・数・数A・数B(必須)	200	100	200	200	200	900	
								300		300		
										1200		
												30

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

前期日程・後期日程について
 「地理歴史」、「公民」から2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。
 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択締結することのできる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限り、
 「理科」については、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択して志願しません。
 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します。(リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります。)
 過年度の大学入学共通テストについては利用しません。令和3年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【個別学力検査等】欄

- 前期日程について
 「理科」の「物理」、「化学」、「生物」については、全領域とします。
 「数学」の「数B」については、「数列」、「ベクトル」とします。
- 後期日程について
 「数学」の「数B」については、「数列」、「ベクトル」とします。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

前期日程・後期日程について
 「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(200点満点)に圧縮して利用します。
 リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点(200点満点)に換算して利用します。
 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

【一般選抜】食農学類

コース	日程 募集人員		大学入学共通テストの利用教科・科目名等		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等					主体性等評価		
	前期日程 60人	後期日程 20人	国 地歴、公民	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴、 公民	数学	理科		外国語	面接
食品科学コース 農業生産学コース 生産環境学コース 農業経営学コース			国(必須) 世B、日B、地理B、理社、倫、政経、倫政経から1 数、数Aから1 数、数B、薄、情報から1 理物、化、生、地学から2 または 物基、化基、生基、地学基から2および物、化、生、 地学から1 外英、独、仏、中、韓から1	理科 数学 外国語	物基・物 化基・化 生基・生 数学(数 英語(コ ニユニケ ニユニケ ニユニケ 英語表現 ・英語表現)	共通テスト 個別学力検査等 計 主体性等評価 【B選考のみ加算】	200	100	200	200	200	200	200	900
			(5教科7科目)または(5教科8科目)	数学 外国語	数学(数・数 英語(コ ニユニケ ニユニケ ニユニケ 英語表現 ・英語表現)	共通テスト 個別学力検査等 計	200	100	200	200	200	200	100	900
				面接(必須)										300
														1200

【大学入学共通テストの利用教科・科目名等】欄

前期日程・後期日程について
 「地理歴史」、「公民」から2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。
 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択締結することのできる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限りません。
 「理科」については、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。(リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります。)
 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します。(リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります。)
 過年度の大学入試センター試験の成績については利用しません。令和3年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【個別学力検査等】欄

- (1) 前期日程について
 「理科」の「物理」、「化学」、「生物」については、全領域とします。
 「数学」については、「数B」については、「数列」、「ベクトル」とします。
 「外国語」の「英語」については、「音声内容」は含みません。
- (2) 後期日程について
 「数学」の「数B」については、「数列」、「ベクトル」とします。
 「外国語」の「英語」については、「音声内容」は含みません。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- (1) 前期日程について
 配点に()を付してある教科は、選択教科・科目を表します。
 大学入学共通テスト「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(200点満点)に圧縮して利用します。
 リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点(200点満点)に換算して利用します。
 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。
- (2) 後期日程について
 配点に()を付してある教科は、選択教科・科目を表します。
 大学入学共通テスト「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(200点満点)に圧縮して利用します。
 リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点(200点満点)に換算して利用します。
 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。
 B選考は実施せず、面接で主体性等を評価します。

(2) 総合型選抜および学校推薦型選抜

人間発達文化学類

【総合型選抜】計 20 人

次の 2 コースで募集を行います。

1) 芸術・表現コース (音楽 4 人, 美術 4 人)

- ・音楽または美術において優れた技能を有する者を求めます。
- ・音楽の分野は, 声楽, ピアノ, 管弦打楽器 (試験に持参できるものに限る), 作曲, 指揮とします。

美術は, 特に分野を限定しません。

- ・小論文 (100 点満点), 面接 (自己推薦書, 実技実績調査書, 出願時に提出した作品の評価を含む。100 点満点), 実技検査 (100 点満点) の成績の総合点により判定します。ただし, 小論文, 面接, 実技検査のうちいずれかの得点が一定の点数 (30 点) に達しない者は, 合格者とはなりません。

2) スポーツ健康科学コース (スポーツ 12 人)

- ・次の種目において優れた技能を有し, 全国大会 (国民体育大会, 全国高校総合大会, 全国高校選手権大会等の競技会) またはブロック大会に出場し, プレーした者を求めます。

陸上競技, バレーボール, バasketボール, サッカー, テニス (ソフトテニス含まない), 野球 (男子), ソフトボール (女子), バドミントン, 剣道, 柔道, ハンドボール, トライアスロン

なお, 1 種目の合格者数は募集人員の半数を超えないものとします。

< 第 1 次選抜 > 自己推薦書, 実技実績調査書を総合して選抜します。

< 第 2 次選抜 > 第 1 次選抜合格者に対して, 小論文 (100 点満点), 面接 (高等学校等で学習した基礎的な内容についての口頭試問を含む, 100 点満点), 実技実績評価 (100 点満点) の成績の総合点により選抜します。ただし, 小論文または面接の得点が一定の点数 (30 点) に達しない者は, 合格者とはなりません。

【学校推薦型選抜】計 74 人

次の 7 コース・10 受験区分で募集を行います。

1 校につき推薦できる最大人数は, すべてのコースを合わせて 7 人とします。

1) 教育実践コース

小学校教員になることを強く希望する者 (14 人)

2) 心理学・幼児教育コース

幼稚園教員になることを強く希望し, あわせて保育士資格を取得する意志のある者 (7 人)

3) 特別支援・生活科学コース

特別支援学校教員になることを強く希望する者(8人)

家庭科または特別支援教育に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者(5人)

4) 芸術・表現コース

音楽科に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者(4人)

美術科に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者(4人)

5) 人文科学コース

国語科, 社会科, 英語科のいずれかに関心があり、小学校教員になることを強く希望する者(15人)

6) 数理自然科学コース

理科に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者(7人)

数学科に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者(4人)

7) スポーツ健康科学コース

体育科に関心があり、小学校教員になることを強く希望する者(6人)

- ・大学入学共通テスト(900点満点), 面接(600点満点)の総合点により判定します。
- ・大学入学共通テストの受験を要する科目等 配点は一般選抜と同様です。(9~10頁参照)
- ・受験区分 の面接には音楽に関する簡単な実技検査を含みます。
- ・受験区分 の面接には図画工作に関する簡単な実技検査を含みます。

行政政策学類

令和2年度入学者選抜から変更ありません。

【総合型選抜】20人(夜間主のみ)

志願理由書に基づいた口頭試問を行い, 問題意識や勉学意欲等を総合的にみます。

【学校推薦型選抜】42人(昼間のみ)

小論文(100点満点), 面接(50点満点)の成績の総合点により判定します。

経済経営学類

【総合型選抜】11人

総合型選抜に出願した者が本学類の学校推薦型選抜に出願した場合は、総合型選抜の出願を辞退したものとみなします。このため、総合型選抜第2次選抜の日程は学校推薦型選抜出願期間終了後とします。

<第1次選抜>書類審査(課題図書に基づくレポート(2冊程度を事前に提示。9月頃に締め切り)、志望理由書、調査書によって20名程度を選抜します。)

<第2次選抜>11月頃に、グループ討論、面接試験によって募集定員程度を選抜します。

<第3次選抜>第2次選抜合格者の中で、大学入学共通テストの指定する科目のうち、3つの教科グループ《国語・外国語》《地歴、公民》《数学(簿記・情報を含む)》のうち2つにおいて、60点(100点満点換算)以上の科目がある者を最終合格者とします。

教科ごとの科目指定は下記のとおりです。

- ・国語：国
- ・外国語：英，独，仏，中，韓
- ・地歴，公民：世A，世B，日A，日B，地理A，地理B，現社，倫，政経，倫政経
- ・数学：数，数・数A，数，数・数B，簿，情報

【学校推薦型選抜】計50人

1校につき推薦できる最大人数は、A推薦とB推薦を合わせて3人とします。

小論文(100点満点)、面接(100点満点)の成績の総合点により判定します。

1) A推薦(25人)

- ・下記 から をすべて満たすことを推薦要件とします。

以下の語学検定試験のいずれかにおいて、一定の基準に達している者

(公財)日本英語検定協会主催 実用英語技能検定(英検)CSE スコア 1850点以上

(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会主催 TOEIC L&R 480点以上

国際教育交換協議会主催 TOEFL iBT 50点以上

(公財)ドイツ語学文学振興会主催 ドイツ語技能検定試験(独検)4級以上

(公財)フランス語教育振興協会主催 実用フランス語技能検定(仏検)5級以上

(公財)日本中国語検定協会主催 中国語検定試験(中検)準4級以上

ロシア語能力検定委員会主催 ロシア語能力検定試験4級以上

韓国教育財団主催 韓国語能力試験(TOPIK)1級以上

評定平均(全体の学習成績の状況)4.3以上の者

学力・人物が優れている者

- ・朱記要件加算(一定以上の資格を有する者に対する得点加算)は行いません。

2) B 推薦 (25 人)

- ・下記 から をすべて満たすことを推薦要件とします。
日商簿記検定 1 級又は 2 級または全商簿記 1 級試験合格者 (情報は不可)
評定平均 (全体の学習成績の状況) 4.3 以上
学力・人物が優れている者
- ・日商簿記検定 1 級に合格している者に対する朱記要件加算 (50 点) を行います。

共生システム理工学類

学校推薦型選抜の募集人員を 20 人から 23 人に変更します。

なお、選抜方法は令和 2 年度入学者選抜から変更ありません。

【総合型選抜】25 人

< 第 1 次選抜 > 出願時に提出されたポスターおよび出願書類を総合的に評価し、60 名程度を第 1 次選抜合格者とします。

< 第 2 次選抜 > 第 1 次選抜合格者に対して、総合問題、ポスター口頭説明および質疑応答を課し、総合的に評価し選考します。

【学校推薦型選抜】23 人

小論文 (40 点満点)、面接 (60 点満点) の成績の総合点により判定します。

食農学類

令和 2 年度入学者選抜から変更ありません。

【総合型選抜】20 人 (地域社会貢献枠概ね 10 人、実践教育経験枠概ね 10 人)

< 第 1 次選抜 > 書類選抜とし、自己推薦書、調査書により、熱意と適性の評価を行います。

< 第 2 次選抜 > 第 1 次選抜合格者に対して課題論文を課すとともに面接を実施し、総合的に評価します。

【学校推薦型選抜】

実施しません。